

テプラロキシジム乳剤 ホーネスト乳剤	取扱メーカー： クミカ [*] 、日本曹達 原体メーカー： 日本曹達
成分： テプラロキシジム〔シクロヘキサンジオン系〕……10.0% その他 PRTR 該当成分： ナフタレン〔PRTR・1種〕……………3.3% メチルナフタレン〔PRTR・1種〕……………16.0% 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩〔PRTR・1種〕…1.0%	性状： 黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級 III

【品目特性】……………

- スズメノカタビラを含むイネ科雑草に、生育処理で優れた効果を示す。
- イネ科雑草の発生から分けつ期まで、幅広い散布適期を有す。
- 登録作物に、生育期の全面茎葉散布が可能。
- 浸透移行性に優れるため、特に雑草の生長点に作用し、地上部・根部の全身を枯殺する。
- 雑草体内へ速やかに吸収されるので、散布後に液が乾けば、その後降雨による影響はほとんどない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 雑草茎葉にかかるよう、まきムラのないように均一に散布する。
- 広葉雑草及びカヤツリグサ科雑草には効果が期待できないので、イネ科雑草優占圃場で使用する。なお広葉雑草などが混在する場合は、これらの雑草に有効な除草剤との体系で使用する。

- 遅効的であり、イネ科雑草を完全に枯殺するまでに7～10日（スズメノカタビラは2～3週間）を要するので、誤ってまき直しなどしないように注意する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 冬季の低温期や出穂期以降等、雑草の生育が停止している場合は、効果が劣ることがあるので使用をさける。
- 周辺のいね科作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、注意して散布する。

【安全対策上の注意】……………



【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤及びピロピロシムを含む薬の総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
いんげんまめ	一年生イネ科雑草	雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 但し収穫45日前まで	75～ 100ml	100～ 150 ℓ	1 回	雑草茎葉 散布又は 全面散布
あずき		雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 但し収穫60日前まで				
だいず		雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 但し収穫14日前まで		100 ℓ		
	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	雑草生育期 イネ科雑草6～10葉期 但し収穫14日前まで				
えだまめ	一年生イネ科雑草	雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 但し収穫14日前まで		100～ 150 ℓ	2回以内	
にんじん やまのいも		雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 但し収穫30日前まで				
たまねぎ		雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 但し収穫14日前まで				
てんさい	一年生及び 多年生イネ科雑草	雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 但し収穫30日前まで		100 ℓ	1 回	
	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	雑草生育期 イネ科雑草6～8葉期 但し収穫30日前まで				